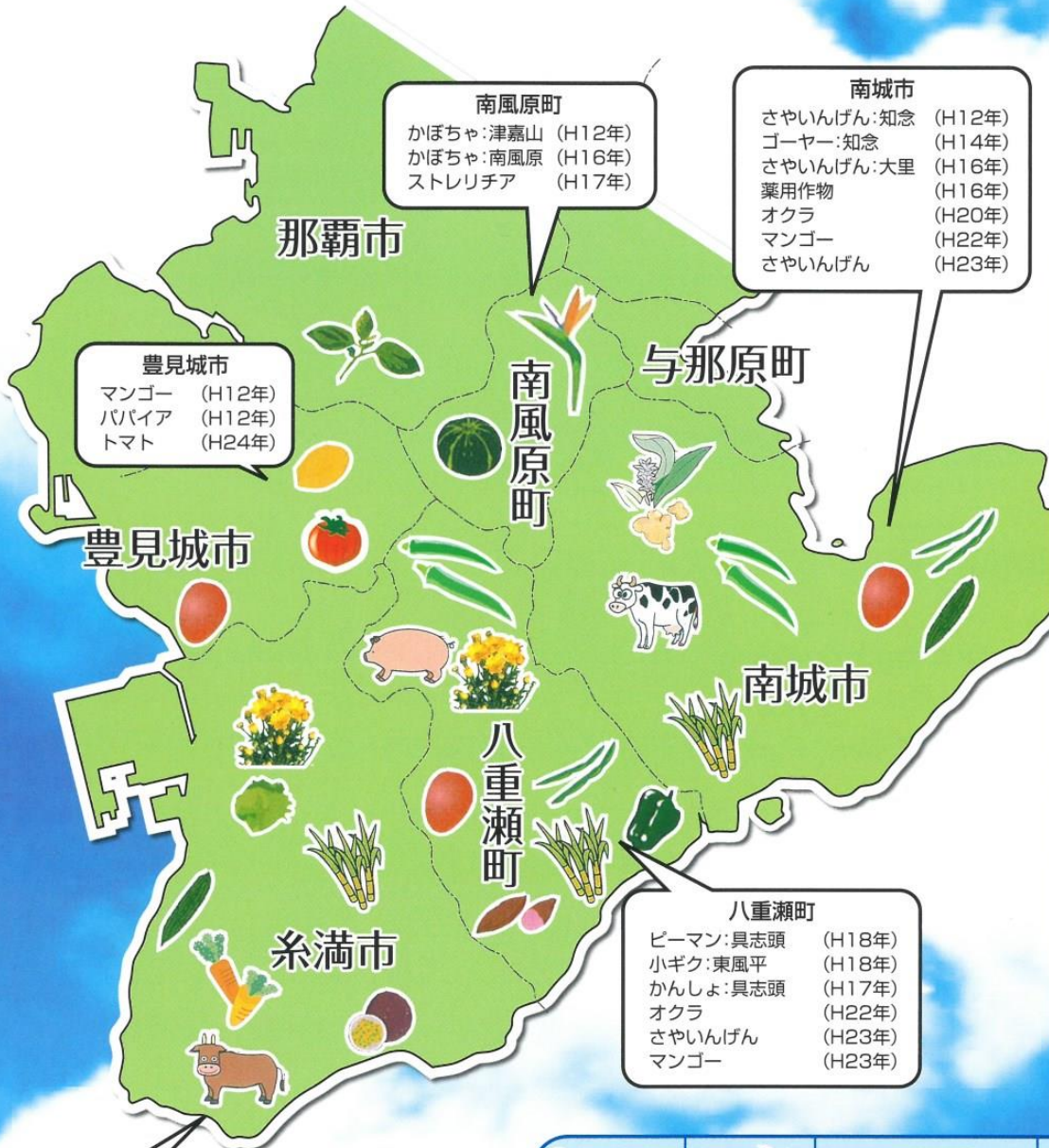


南部地域の農業と普及

() は拠点産地認定年



拠点産地の認定状況 29件		
野菜 15件	レタス	1件
	ゴーヤー	3件
	にんじん	1件
	ピーマン	1件
	オクラ	2件
	さやいんげん	4件
	トマト	1件
	かぼちゃ	2件
花き 5件	小ギク	3件
	輪ギク	1件
	ストレリチア	1件
果樹 5件	マンゴー	3件
	パパイヤ	1件
	パッションフルーツ	1件
	かんしょ	1件
	薬用作物	1件
畜産	肉用牛(子牛)	2件

※平成 26 年 7 月現在

糸満市
レタス (H12年)
ゴーヤー (H14年)
小ギク (H15年)
パッションフルーツ (H15年)
にんじん (H18年)
肉用牛(子牛) (H25年)

久米島町
ゴーヤー (H16年)
小ギク (H21年)
輪ギク (H21年)
肉用牛(子牛) (H22年)



※平成 26 年以降に認定された品目と産地

- ・スターフルーツ (南風原町) (H27年)
- ・かんしょ (久米島町) (H27年)

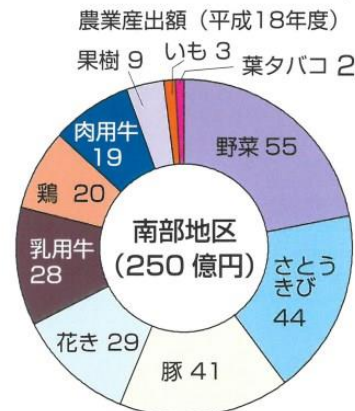
地域概況

1 地勢・土壌・農業産出額

南部農業改良普及センターの管轄区域は14市町村で、沖縄本島の4市3町、離島地域の1町6村からなり、耕地面積は5,790ha(畑5,646ha、樹園地137ha、田7ha)である。

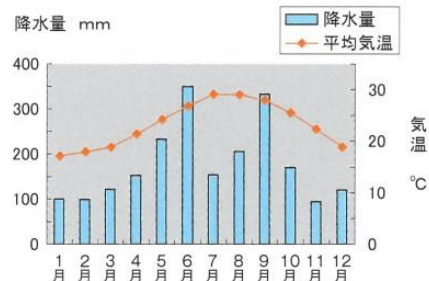
本島南部の土壌は、主として内陸部は泥灰岩が風化したジャーガル土壌、海岸部は琉球石灰岩が風化した島尻マーヅからなっている。

主な農業経営形態は、本島地区では都市近郊型の園芸作物(野菜・花き・果樹)、さとうきび、畜産(養豚・乳用牛・肉用牛等)である。離島では、久米島町のさとうきびと花き・肉用牛との複合経営、南・北大東村のさとうきび専作、近海4離島の地域特産作物など地域特性のある農業が推進されている。



資料：内閣府総合事務局「農林水産統計年報」

2 気象 (2001~2010年)



観測地点：那覇 平均気温：23.3℃
平均降雨量：2,126.8mm/年

参考資料：沖縄気象台ホームページ

3 市町村農業就業人口、耕地面積、農家戸数、担い手等

平成26年7月現在

項目 市町村	農業就業人口 (人)	耕地面積 (ha)	総農家戸数 (戸)	内販売農家			認定農業者 (人)	青年農業者 (15才~39才)	指導農業士 (人)	女性農業士 (人)	生活指導士 (人)	青年農業士 (人)	家族経営 協定締結 農家(戸)	エコファー マー認定状 況		
				専業	1種兼業	2種兼業										
那覇市	193	70	177	114	55	24	35	49	0	0	3	0	0	8	18	
豊見城市	629	202	586	343	176	91	76	195	35	54	3	1	0	1	28	18
糸満市	1,344	717	1,217	825	387	158	280	307	86	60	11	1	0	1	46	48
南城市	1,270	537	1,645	801	311	102	388	215	82	64	8	3	1	0	41	45
八重瀬町	1,071	482	1,101	690	308	126	256	228	107	52	2	1	0	0	42	76
南風原町	324	119	474	194	88	36	70	71	23	19	3	1	0	1	11	8
与那原町	31	13	64	22	7	7	8	7	2	0	0	0	0	0	2	—
久米島町	933	1,413	896	761	424	107	230	312	41	22	1	0	0	0	15	—
渡嘉敷村	6	11	21	5	3	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	—
座間味村	x	x	31	1	x	x	x	x	0	0	0	0	0	0	0	—
渡名喜村	21	5	36	16	3	9	4	4	0	0	0	0	0	1	26	
粟国村	74	69	107	57	28	4	25	15	3	2	0	0	0	0	12	
南大東村	233	1,619	218	217	89	69	59	102	56	13	0	0	0	0	18	—
北大東村	94	532	103	102	28	35	39	45	55	4	0	1	0	0	35	17
南部計	6,223	5,790	6,676	4,148	1,907	769	1,471	1,551	491	290	31	8	2	3	248	268

※ 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家
主業農家：農業所得が主で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家

※ 参考資料：2010年農林業センサス

4 主要農産物

① 園芸作物(拠点産地認定品目)

※ () は県全体に占める割合

ゴーヤー ・出荷量 2,262 t(37%) ・作付免責 115 ha(37%) 糸満市 1,013 t 南城市 428 t 豊見城市 380 t	レタス ・3,438 t(88%) ・163 ha(88%) 糸満市 2,495 t 八重瀬町 476 t 豊見城市 248 t	カボチャ ・688 t(25%) ・88 ha(19%) 南風原町 331 t 南大東村 173 t 北大東村 59 t	サヤインゲン ・1,234 t(71%) ・144 ha(71%) 南城市 671 t 糸満市 239 t 八重瀬町 152 t	ニンジン ・927 t(52%) ・64 ha(52%) 糸満市 842 t 豊見城市 31 t 与那原町 18 t	ピーマン ・1,582 t(82%) ・28 ha(80%) 八重瀬町 993 t 南城市 303 t 糸満市 257 t	オクラ ・647 t(65%) ・58 ha(52%) 南城市 285 t 糸満市 172 t 八重瀬町 125 t
トマト ・1,250 t(57%) ・27 ha(57%) 豊見城市 847 t 糸満市 148 t 南城市 86 t 南風原町 86 t	小ギク ・58,320 千本(30%) ・159 ha(30%) 糸満市 33,972 千本 八重瀬町 15,082 千本 久米島町 3,620 千本	輪ギク ・4,926 千本(9%) ・17 ha(10%) 久米島町 4,578 千本 糸満市 137 千本 八重瀬町 68 千本	ストレリチア ・1,248 千本(96%) ・22 ha(95%) 南風原町 1,036 千本 南城市 133 千本 八重瀬町 51 千本	マンゴー ・388 t(32%) ・61 ha(25%) 豊見城市 161 t 八重瀬町 67 t 糸満市 64 t	ドラゴンフルーツ ・45 t(31%) ・7 ha(37%) 糸満市 27 t 南風原町 9 t 那覇市 4 t	パッションフルーツ ・33 t(40%) ・4 ha(29%) 糸満市 18 t 南城市 7 t 南風原町 9 t

② 工芸作物

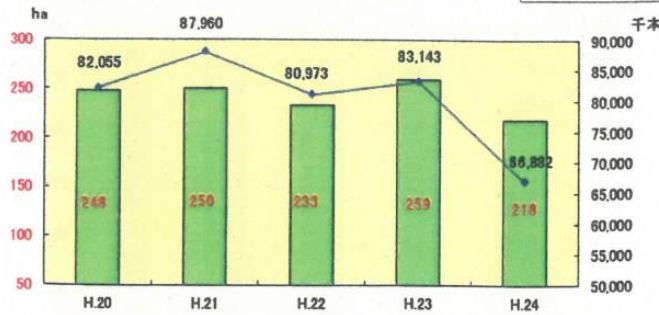
③ 畜産

さとうきび ・176,786 t(26%) ・3,846 ha(31%) 南大東村 70,575 t 久米島町 61,797 t 糸満市 36,188 t	かんしょ ・700 t(17%) ・58 ha 八重瀬町 127 t 久米島町 557 t	薬用作物 (ウコン類) ・6 t(36%)・1 ・2.2 ha ・1乾物重	肉用牛(黒毛和種) ・7,946 頭(11%) ・323戸(13%) 久米島町 2,316 頭 糸満市 2,114 頭 南城市 1,483 頭	乳用牛 ・飼養頭数 3,015 頭(64%) ・農家戸数 51 戸(63%) 南城市 1,799 頭 糸満市 583 頭 八重瀬町 243 頭	豚 ・69,573 頭(32%) ・90 戸(25%) 八重瀬町 37,979 頭 糸満市 15,480 頭 糸満市 12,704 頭	採卵鶏 ・816,219 羽(51%) ・55 戸(12%) 南城市 410,548 羽 糸満市 159,956 羽 八重瀬町 144,800 羽
---	--	--	---	---	---	---

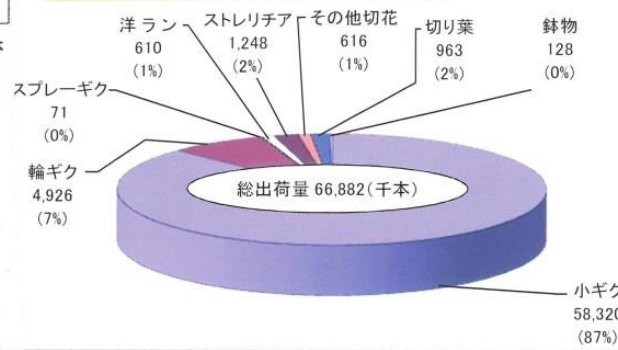
参考資料：野菜の作付面積、収穫量及び出荷量 平成23、24年産 沖縄県の園芸・流通 平成25年10月 平成25/26年産 さとうきび及びびんしゃ糖生産実績
平成24年産かんしょ生産実績(県糖業農産課資料) 薬用作物に関する栽培状況(県糖業農産課資料) 平成25年12月末家畜・家きん等の飼養状況調査(県畜産課)

農産物概況

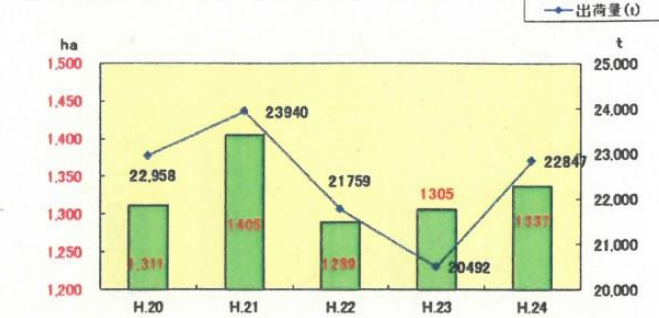
南部地区の花き作付面積と出荷量



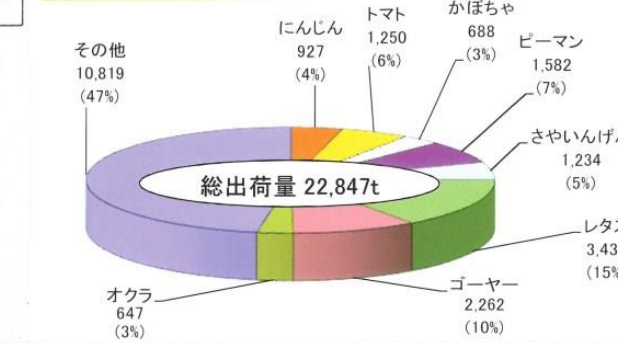
平成24年産花きの種類別生産実績



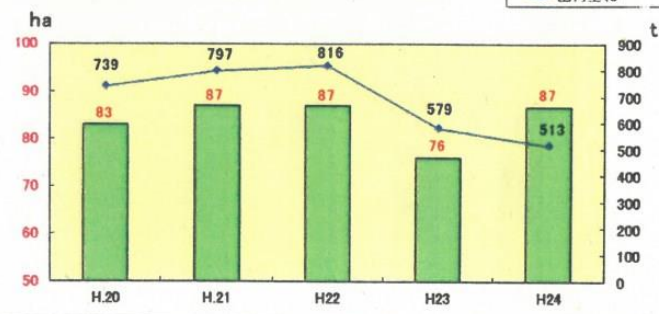
南部地区の野菜作付面積と出荷量



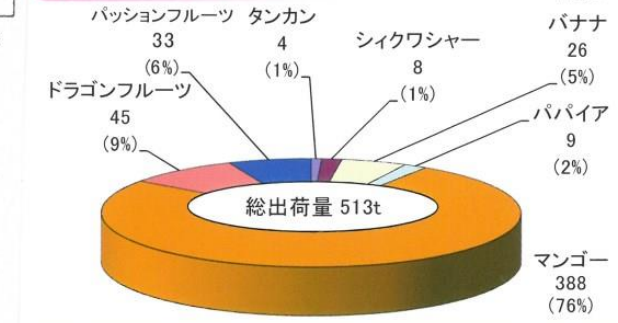
平成24年産野菜の種類別生産実績



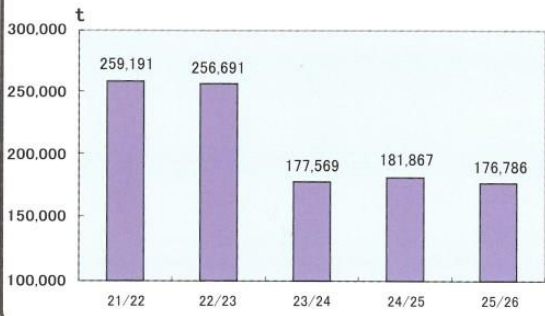
南部地区の果樹の結果樹面積と出荷量



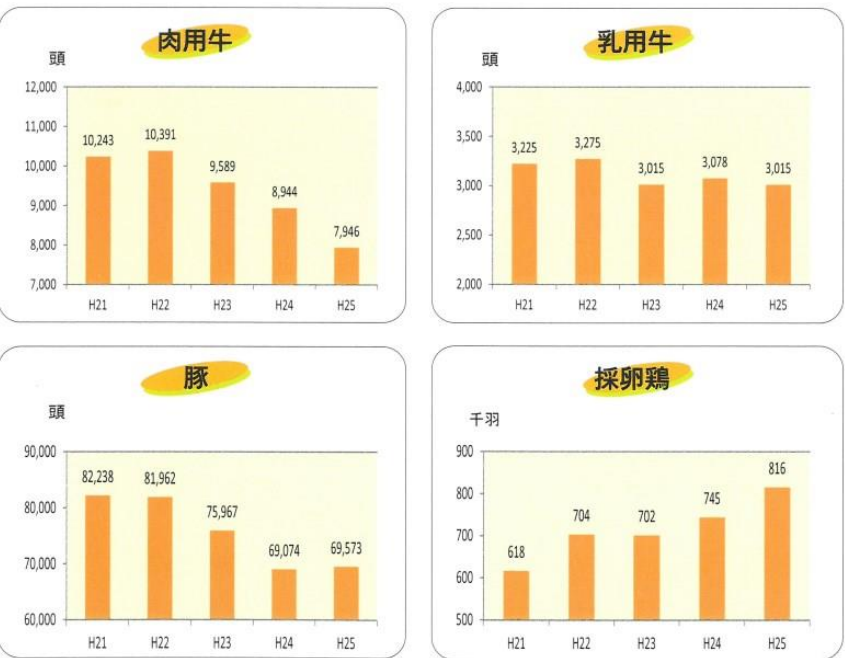
平成24年産果樹の種類別生産実績



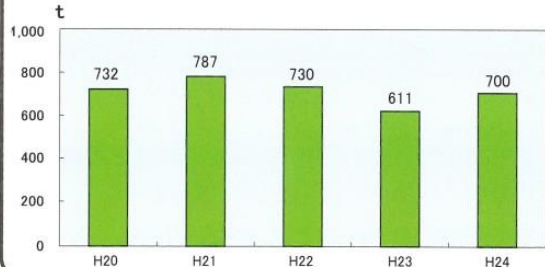
さとうきびの生産量の推移



畜産の飼養頭羽数の推移



かんしょの生産量の推移



参考資料：平成19～23年沖縄県の園芸・流通、平成22年野菜の作付面積・収穫量及び出荷量
さとうきび及びびん糖生産実績、県糖業生産課業務資料、県家畜課家畜・家きん等の飼養頭羽数調査

I 安定的な農業の担い手育成

経営体の育成

経営感覚に優れた担い手育成のため認定農業者等を対象に、経営改善計画書作成支援を行っている。また、経営改善に意欲的な農業者・農業法人に対して、経営管理能力向上のため経営実態把握・診断・分析、専門講師による講演会等を実施し、経営意識の高い農業者の育成に向けた支援を行っている。さらに、金融機関、市町村、JA等と連携し制度資金借入農家に対して経営改善支援を実施している。あわせて、女性や後継者の経営参画のため家族経営協定の推進にも取り組んでいる。



農業経営講座(久米島)



専門講師による資質向上講習会

担い手育成

将来の農業担い手を確保するため、就農希望者及び新規就農者を対象に、就農相談、農家研修、就農支援講座等を開催し、就農における基礎的知識・技術習得の支援を行っている。

また、意欲ある青年農業者の育成を図るため、『南部地区農業青年クラブ連絡協議会』の組織活動を通して若い農業者のリーダーを育成している。

地域農業のまとめ役や新規就農者育成を担う人材として『南部地区農業士会』を核としたリーダーの活動支援を行っている。また男女共同参画推進のため若手就農女性の活動を支援している。



農業士等認定式



農業青年ほ場視察



就農支援講座



若手女性農業者勉強会

集落農業担い手の育成

豊かな地域社会づくりを進めるため、地域における自主的な活動を促進することを目的とし、市町村・JA等の支援体制の整備を行い、集落における農業生産の振興、豊かな地域社会づくりのための意識啓発、集団化・組織化の促進、経営改善、地域特産品づくり等に関する支援を行っている。また、地域の意向を取りまとめ、地域活動の企画・運営、生産組織等の中心的な役割を担える集落リーダーの育成を行っている。



地域農業推進会議



地域農業推進実証展示ほ場地検討会

南部地域の普及指導活動

Ⅱ 沖縄ブランドに向けた産地育成

野菜

南部地域は野菜類の生産が盛んで、拠点産地品目（ゴーヤー、さやいんげん、オクラ、ピーマン、にんじん、かぼちゃ、レタス、トマト）と指定産地品目（トマト、ピーマン、にんじん、レタス）を中心に栽培されている。

最近ではチンゲンサイやミズナ等の軟弱野菜やハーブ類の導入・産地化への取り組みがみられる。市町村、JA 等と連携し、栽培技術の改善による単収・品質の向上と、台風対策・低コスト化や雨よけ栽培等の推進により、安定した野菜供給産地の育成と生産農家の経営安定にむけて取り組んでいる。



トマト拠点産地認定



ピーマン



ゴーヤー現地検討会



かぼちゃ

花き

花き栽培は小ギク、輪ギク、デンファレ、ストレリチア、クルクマ等の切り花やドラセナ類等の観葉鉢物、コチョウラン等の洋ラン鉢物が栽培されている。花き拠点生産地として糸満市、八重瀬町が小ギク、久米島町が輪ギク、南風原町がストレリチアの拠点産地に認定されている。安定生産に向け、関係機関と連携しながら、現地検討会や講習会等を中心に普及支援活動に取り組んでいる。



小ギク



デンファレ



ストレリチア現地検討会



クルクマ

果樹

南部地域では、亜熱帯性気候の特性を活かしたマンゴー、ドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、アセローラ、ゴレンシ等の熱帯果樹が栽培されている。現在、マンゴーで豊見城市、南城市、八重瀬町、パパイヤで豊見城市、パッションフルーツで糸満市が拠点産地として認定を受けている。特にマンゴーについては、贈答用・観光土産品等の高級果実として認知されており、高品質安定生産に向け、現地検討会や講習会等を中心に支援を行っている。



パッションフルーツ



マンゴー栽培講習会

かんしょ

かんしょは八重瀬町や久米島町などを中心に生産されている。八重瀬町では、かんしょの拠点産地として青果・加工用かんしょの生産に加え、島野菜のカンダバーの生産も増えつつある。また、イモ掘り体験も取り入れ、消費者との交流も図っている。久米島町では2大重要害虫の一つアリモドキゾウムシが根絶され、生産意欲の高まりとともに栽培面積も増加している。実証展示ほの設置や講習会、産地協議会の活動等を支援し、消費者や市場に支持される産地形成を推進する。



カンダバー現地検討会



かんしょ講習会



かんしょ培養田現地検討会

さとうきび

さとうきびは単収向上を図るため、肥培管理や雑草対策、品種構成の適正化、優良種苗の導入、農作業の機械化等による生産性の向上を図り増産対策に取り組んでいる。

また、生産法人などの生産組織の育成強化・経営指導や機械士会の技能向上や農作業安全の啓発により担い手育成を図る。



さとうきびかん水作業（干ばつ対策）



さとうきび栽培講習会

畜産

飼養頭羽数は、採卵鶏は増加傾向、肉用牛や養豚は減少傾向、乳用牛は横ばいである。

肉用牛については、市場性の高い子牛づくりのため飼養管理技術向上の支援や、経営管理の支援を行っている。酪農については、経営安定を目指し飼養管理や経営管理能力の向上に加え、飼料自給の取組に対し支援を行っている。養豚については、家畜排泄物の適正処理と利用促進を図り耕種部門との連携を推進する。



県畜産共進会団体賞（糸満市）



糸満市拠点産地を支える青年



粟国島肉用牛飼育講習会



子牛発育測定

Ⅲ 環境と調和した農業生産

環境と調和した持続的な農業生産を推進するため、有機物を利用した土づくりや化学肥料、化学農薬低減等の環境保全型農業に取り組む農業者（エコファーマー）を育成・支援しており、県内エコファーマー認定者の約6割を南部地区が占めている。また、消費者の食料の安全、安心への関心が高まる中、特別栽培農産物の認証や農業生産工程管理（GAP）等を推進し、農産物への信頼を高め、消費者ニーズに応える意欲的な生産農家への支援を行う。

未利用資源である養豚の余剰汚泥を畑地還元する耕蓄連携を推進する。



エコファーマー勉強会

Ⅳ 地域資源活用による農村振興

農業者自ら地域産物に付加価値をつけ、加工品の開発・販売や農業体験等を実践する起業者が増えつつあり、地産地消の気運も高まっている。こうした背景を受け、農産加工技術等について支援を行う。また、島野菜の産地化を目指して、生産農家や関係機関と連携しながら、メニュー開発や販売促進活動等を支援し、生産・流通体制の確立を図る。



アグリチャレンジ講座グループインタビュー実習

所長

南部農業改良普及センター活動体制

普及企画班

- 地域調整
- 地域営農
- 担い手
- 農業経営
- 庶務

地域特産振興班

- 特産物
- 工芸作物
- 作物
- 畜産

園芸技術普及班

- 野菜
- 花き
- 果樹

離島駐在

- 久米島町駐在
- 南大東村駐在
- 北大東村駐在